

立春から数えて二一〇日目を「二百十日」と言い、昔は稻の

にひやくとおか

開花時期、今では稻の収穫期にあたります。この時期は台風が多く襲来するため、農家の厄日とされ、古くは家の棟に「風切り鎌」と称して草刈り鎌を取り付けたり、収穫前の稻を一株切り取つて神様にお供えする風習がありましたが、今では殆ど見られなくなりました。（横根岡区が風祭を齋行するのみ）日本は古来より「豊葦原瑞穂の国」とも呼ばれ、農業を尊び、一年間、様々なお祭を通して神様に豊作を祈つてきました。正月十五日の祈年祭の「御神的神事」で一年の風や水の障りを占うことや、五月五日の例大祭の「神樂」、二百十日の「風祭」、十月十五日の「神事祭」、十一月二十三日の「新嘗祭」が代表的なお祭です。

今年は夏場に集中豪雨や日照りなど、大きな地域差がありますが、当地の稻の生育は順調で、八月中旬から稻刈りが始まりました。旧暦八月十五日は「中秋の名月・十五夜」です。

ススキを飾り、月見団子や里芋・栗などの秋の収穫物をお供えします。これも「神恩感謝」という日本人の心の現れです。

今月の行事

八月三一日 二百十日風祭（横根岡区祈願祭）

六日 玉崎神社秋季例祭役員会

七日 白露

一三日 いいおか幼稚園・入園説明会

一五日 敬老の日（祝日）

二三日 秋分の日（祝日）・彼岸の中日

十月六日 十五夜（旧暦八月十五日・芋名月）

*玉崎神社秋季例祭（十月十五日）

九月中頃より「神事祭」の御神札が颁布されます。
御神札を受け、神棚にお祀りしましょう。

